

パブリックコメントの結果について

小松駅周辺整備デザイン案に対するパブリックコメントの結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- ・募集期間 令和2年4月1日(水)～4月20日(月)
- ・提出総数 8通 (内訳: 持参1通、郵送1通、メール6通)

2. 意見の概要と考え方

・駅広場整備案について

No	ご意見(概要)	市の考え方
1	西側には、歌舞伎の駅前広場、バス乗り場のひさしなど構造物に伝統的建築要素を取り入れる。西口から東口へタクシー、一般車両を移動し、バス優先に。空いたスペースはうらら前広場から一体的に整備。小松の象徴となるモニュメントを備えた広場にする。	駅利用者が使いやすく、さらに小松のゲートウェイとしてふさわしい整備を進めていきます。
2	従来の縦列駐車ではなく、少し斜めに駐車し、何台も停められるようにした方が良い。	駐車場を新設または拡充することで、駐車台数を増やしていきたいと考えています。
3	3つのエリア分けがシンプルで、駅利用者にとって、わかりやすいと感じた。一般の送迎車を優先したレイアウトになっており、現状の不便な点が解消されると期待する。 より「小松らしさ」を感じるように、石と苔を多く感じられるポイントがあったら良い。	機能的で「小松らしさ」を感じる空間となるよう設計に反映していきます。
4	屋根付き通路について、現在の屋根の高さは十分にあるものの幅が狭く、少し風のある雨や雪に対しては機能していない。 屋根のデザインを駅のシンボル、あるいはランドマークとなるくらい大きさを持たせたものに一新出来ないか。	屋根付き通路の機能性に注意しながら、設計を進めていきます。
5	新幹線駅と空港がこんなに近い駅はないので、新幹線と小松空港の近さ、便利性をアピールすべき。また、小松駅に降りたときに、歴史と文化、現在と未来の小松市を感じてもらえるような「入り口」にしていきたい。	レール&フライト推進に向け、AIやIOTの活用検討により、利便性や満足度の高い駅を目指します。
6	タクシーの乗車について、間違っって西口に向かわないよう、構内の案内誘導に配慮してほしい。また、地方都市では、もっとレンタカーの利用利便性を高めるべき。	案内サインは駅利用者にとって分かりやすい表示に努めていきます。また、二次交通のアクセスについても検討を進めていきます。

・プロムナード整備案について

No	ご意見（概要）	市の考え方
1	小松の名所銘店を集約し、小松を感じ取れるようなインスタ映えする施設を希望。在来線側が地元利用中心、新幹線側は観光中心の施設とし、スケボー場は駅から離れた場所が望ましい。	高架下活用について、JR西日本や鉄道運輸機構等と協議を行っております。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
2	スポーツバーにてパブリックビューイングできるスポーツバーを希望。一定期間で入替えする地元飲食店のテナントブースやステージの設置を希望。	商業施設については、民間開発ベースで検討しております。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
3	新設されるビジネスラウンジや学びのライブラリなど、多くの方が交流できる「学びの拠点」は、完成後には利用してみたいと感じた。小松瓦や、こまつ畳など肌で触れたり感じたり出来るもの使用してほしい。駅以外の利用者も何度も利用したいと思える利用価値のある場所であってほしい。	地域の特色を活かした「小松らしさ」を感じる空間づくりを行い、市民にとっても満足度の高い駅ナカを目指します。
4	高架下プロムナードは、利用する人が自由に変化させていけるように、あまり凝り固まったものは置かない方が、使い勝手が良いと思う。	利用者のニーズに応じて、年齢や職域を超えた様々な人がフレキシブルな利用ができるよう、計画をしていきます。
5	駅ナカに、滝ヶ原石のカウンターを設置したり、多くのベンチを設置してほしい。 新幹線改札口は、「安宅の関」の関所をくぐるイメージ、お土産等の手提げ袋は、「歌舞伎の町小松」で統一する。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
6	五七五(俳句)カフェを設け、季語を取り入れたメニュー、手書き散策MAPを高校生や大学生とのワークショップで作っていくのはどうか。未来も小松の良さを持続可能なものにするには、市民がDIYで駅を創り上げていく過程が必要と思う。	持続可能な運営には、市民との共創は不可欠であると考えます。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
7	ビジネスラウンジは、落ち着いた室内環境が確保された施設。ライブラリは、情報センター機能を有した学生と地域社会との共同研究・創造の場が好ましい。 北側コンコースに面して「小松の文化を展示できるスペース」、それを囲むように、総合情報センターやカフェ、コンビニ、土産物店、ベンチ等を配置してはどうか。八日市地方遺跡の出土品についても、展示スペースのガラスの床下に遺跡を復元し、見られるようにしてはどうか。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。 八日市地方遺跡の展示については、駅ナカだけではなく、駅周辺エリアも視野に入れ、石の文化を情報発信できる場を検討していきます。